

2011年11月10日
横浜ゴム株式会社

2011年度第2四半期決算説明会



第2四半期累計連結決算の状況

売上高は、為替円高の影響を受けながら、販売量増により199億円増収。
営業利益は、内部改善・値上げ効果により8月予想を上回る。

単位：億円

	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	増減率	8月予想
売上高	2,383	2,582	8.4%	2,580
営業利益	83	76	▲8.3%	60
経常利益	36	26	▲26.1%	36
当期純利益	12	3	▲75.7%	13

部門別の状況

タイヤは、国内市販用および海外（欧州・アジア等）で販売好調。
工業品は、自動車生産量減の影響を受ける。

単位：億円

		2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	増減率	8月予想
売上高	タイヤ	1,849	2,047	10.7%	2,040
	工業品	414	417	0.7%	420
	その他	120	119	▲1.2%	120
	合計	2,383	2,582	8.4%	2,580
営業利益	タイヤ	61	60	▲2.0%	44
	工業品	16	5	▲71.2%	9
	その他	6	11	87.8%	7
	合計	83	76	▲8.3%	60

その他：航空部品、スポーツ用品、その他

2011年度連結決算予想

為替円高の影響を考慮し、売上高は修正。
営業利益は前回公表値を据え置き。

単位:億円

	2010年度 2010年4月～ 2011年3月	2011年度 2011年4月～ 2011年12月	期初(5月)予想
売上高	5,194	4,600	4,710
営業利益	295	210	210
経常利益	234	150	190
当期純利益	139	85	110

業績予想策定の前提

2011年度は4～12月の9ヶ月決算

為替レート	US\$ 79円	EUR 111円
原材料	RSS3号 500セント	

中期経営計画(GD100)と 2011年度下期の取り組み



中期経営計画Phase II (2009～2011年度)の概要

テーマは”高質な成長“

タイヤ成長戦略

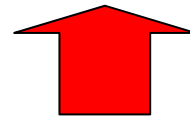
- 環境貢献商品のグローバル展開
- グローバルな新車装着で認知度向上
- ロシア事業の強化
- 増産計画
- 地域事業体制の強化

MB成長戦略

- 成長分野のグローバル展開
- 環境を軸とした新規事業

技術戦略

- 環境貢献技術
- 良いモノを、安く、タイムリーに



経営基盤の強化

- 国内事業の構造改革
- ムダ取り活動
- CSR経営

タイヤ成長戦略

環境貢献商品のグローバル展開



グローバル・コンセプト

「環境＋人と社会にやさしい」

認知度向上のための情報発信



パイクスピーク



オルタナティブエネルギーカップ

2011年度下期の取り組み

- 今年4月、欧州販売開始
- 今後中国、北米で販売へ
- グッドデザイン賞受賞
(2010年、2011年)
- ボストン科学博物館展示

タイヤ成長戦略

グローバルな新車装着で認知度向上



電気自動車「テスラ ロードスター」

プレミアムカーから低燃費車、電気自動車まで

- ベンツCLS/SLK ●スマート フォーツー
- プリウスα ●デミオ ●ミラ イース
- テスラ ロードスター

2011年度下期の取り組み

WTCC、2011年は 鈴鹿開催



タイヤ成長戦略

ロシア事業の強化

- 2011年12月乗用車用タイヤ工場稼動予定
- モスクワモーターショーで日本大使館から感謝状



増産計画／地域事業体制の強化

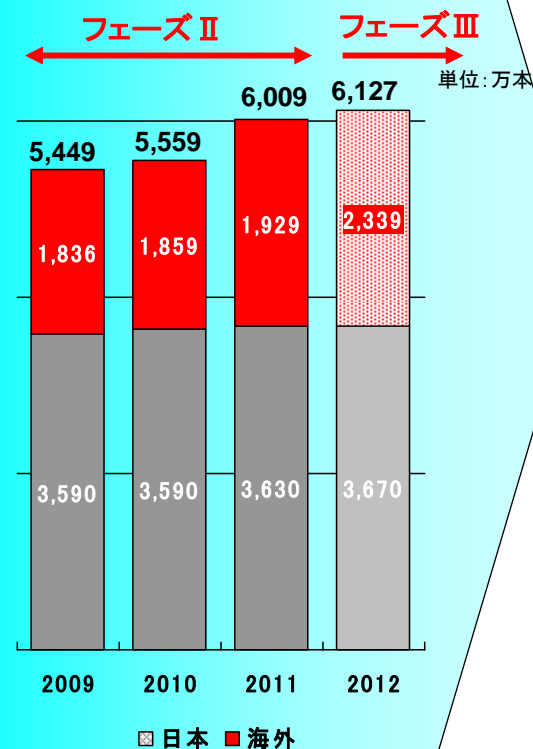
- 日本、フィリピン、中国、タイ、ロシア、米国で増産
- 市場に合った商品開発・提供



(ロシア工場外観)

2011年度下期の取り組み

タイヤ生産能力
国内6、海外4の割合へ



タイヤ年間生産能力の推移

2011年末は対2009年比10%増加

単位:万本

工場		2009年	2010年	2011年	2012年
国内	三重(TB・LT)	590	590	590	590
	三島(PC)	1,390	1,390	1,390	1,390
	新城(PC)	1,410	1,410	1,410	1,410
	新城南(PC)	200	240	280	280
	国内計	3,590	3,630	3,670	3,670
海外	米国(PC)	560	560	620	620
	米国(TB)	50	50	50	58
	フィリピン(PC)	690	700	700	700
	中国(PC)	300	310	510	510
	中国(TB)	34	34	34	34
	タイ(PC・LT)	190	240	320	400
	タイ(TB)	35	35	35	35
	ロシア	-	-	70	70
	海外計	1,859	1,929	2,339	2,427
合計		5,449	5,559	6,009	6,097

MB成長戦略

成長分野のグローバル展開

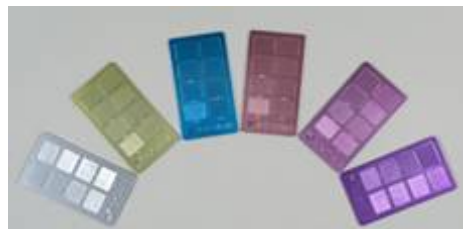
海外工業品拠点(製造7社、販売3社)



- 国内外売上高比率を70:30→50:50へ
- 北米、アジア、中国にめど、更なるグローバル化

環境を軸とした新規事業

- 電材事業を強化
(LED、ソーラー、情報
端末など)
- 介護分野へ進出



情報端末向けコーティング材「Y-coat」

2011年度下期の取り組み

中国に高圧ホース
専門工場設立



車椅子用エアースセルクッション
Medi-Air1の拡販



スポーツ事業

PRGR「egg」が好調

長尺・軽量・太グリップ
で飛距離アップ
「egg birdドライバー」



「NEW iD435ドライバー」を投入

アスリートゴルファー向け



「Sweep」は堅調な販売

女性向けクラブシリーズ
として息の長い人気



海外市場を開拓

韓国、中国、東南アジア市場で営業攻勢

2011年度下期の取り組み



egg birdドライバー



NEW iD435
ドライバー



Sweepドライバー

技術戦略

●環境貢献技術



オレンジオイル配合
コンパウンドの分子
構造イメージ

- ★低燃費タイヤ開発のキーテクノロジー
- 1) オレンジオイル配合コンパウンド
 - 2) 空気漏れを低減するインナーライナー



タイヤ内部に貼る
インナーライナー



「BluEarth」「ADVAN dB」などに投入

- 良いモノを、安く、タイムリーに

基盤強化

●国内事業の構造改革

ヨコハマタイヤジャパン(2009年7月)
横浜ゴムMBジャパン(2010年10月)

●ムダ取り活動

2006～2010年度で440億円コスト削減
2011年度は70億円を計画
(スタートからの6年累計で510億円削減予定)

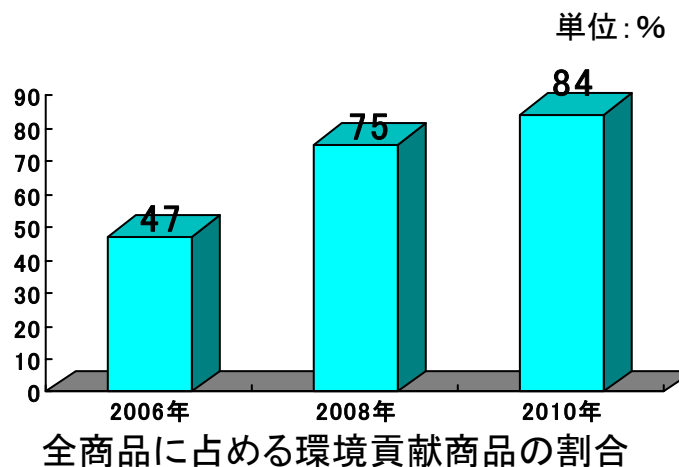
CSR経営

環境

- 環境貢献商品の比率84%(全商品)
- YOKOHAMA千年の杜を継続中
2011年8月までに20万本植樹



ヨコハマ＝環境の認知度向上にも貢献



社会、人

- 東日本大震災の復旧・復興
- 1)被災地ボランティア活動
 - ・7～10月 4回45名が参加
 - 2)今夏ピーク時電力の25%削減を目標に節電対策
 - ・大きな成果を出す
 - ・本社ビル昨年比36%削減



宮城でのボランティア活動(7月)



コージェネレーションシステム



GD100